\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*

ジュゴン Vol.121

**ちゃんぷる**ニュース

**SDCC** 2021. 3. 29

# CONTENTS

- ●2/3 情勢・南西諸島のミサイル基地拠点化
- 国際的取り組み
- ●4/5 「月桃」歌碑建立運動
- セミナー案内、署名のお願い
- ●6/7 交流広場
- コラムー月桃の花咲く季節
- わんさか通信★ジュゴンのわ

昨年10月、国連人権理事会が定例会合で、「清潔で健康的な環境へのアクセスは基本的人権である」との決議案を賛成多数で可決した。理事会メンバー47カ国のうち、43カ国が賛成、反対はゼロ。日本は棄権した。ほとんどの国が賛成しているのに、「環境権は国際的にはまだ認められていない」という棄権理由には首をかしげざるを得ない。

# 環境權と辺野古の海

日本ではじめて環境権を前面に出しての訴訟は、北海道電力伊達火力発電所建設差し止め訴訟。沖縄返還と同じ 1972 年のことだ。日本中が工業化の波に覆われていた時期に、暮らしと自然を守る視点から反対の声を上げている。北電が機動隊 500 人を動員して工事を強行したり、反対派住民 11人が逮捕されたり。それでも漁民は抵抗し続けたが、1978 年発電所は本操業を開始してしまう。そして裁判も 1980 年に原告側の全面敗訴で終わった。しかし裁判係争中に原告の一人斎藤稔さんが「ぼくらは建つ前も反対だったし、建ちはじめても反対だし、煙が出るようになっても反対です」と語っていたように、原告団メンバーたちは敗訴後も火電反対の旗は降ろさず、環境を守る運動を続け、それが「伊達市環境基本条例」(1998年)に結実したという。1970年の発電所計画から 30年近くに渡った闘いには大きな意味があった。

日本政府は、この訴訟開始から半世紀たった今も、環境権を認めていないが、いまや環境問題は世界のトレンドだ。そして世界では、人間以外の生物にも環境権を認める動きが広がりつつある。ジュゴンや 5800 種の生き物が棲む豊かな辺野古の海を埋め立てることなど、本当にとんでもないことだ。

1997年に「命を守る会」が結成されて以来25年間続く辺野古の闘いは、基地の完成を阻み続け、いのちと平和、環境、人権の大切さを発信し続けてきた。必ず工事を止めて、ジュゴンの海を守りたい! そして、世界中から戦争につながる基地がなくなり平和が訪れることを切に願う。

(関西 山根富貴子)



## 情 勢 (事務局)

# 南西諸島のミサイル基地拠点化 を許さない!



### 暴走する岸田内閣

1月7日、日米外務防衛閣僚会議(2+2)は「台湾有事」の初期段階で、米海兵隊が自衛隊とともに「共同対処する」ことや、「敵基地攻撃能力」の保有も含めた、あらゆる選択肢を検討していくと共同発表しました。昨年4月日米首脳会談で「他者への威圧に反対」にとどめていた共同声明を、今回は「共同対処する」と共同軍事作戦に変えたのです。共同軍事作戦の明記はありませんが、昨年12月共同通信が「原案」をスクープしています。台湾有事の緊迫度が高まった初動段階で、米海兵隊は鹿児島県から沖縄県の南西諸島に臨時の攻撃用軍事拠点を置く。陸上自衛隊がミサイル部隊を配備する奄美大島や宮古島、配備予定の石垣島を含む約40カ所を候補とする。辺野古新基地建設は継続するなど。

### 敵基地攻擊能力

岸田首相は戦後の首相で初めて「敵基地攻撃能力を持つことを検討する」と国会答弁しました。岸防衛大臣は自衛隊機が他国領空に入り爆撃する選択肢を「排除しない」と言っています。今年末の国家安全保障戦略改定に向けて、政府与党内で議論しているからです。これは国際法違反の「先制攻

撃」どころか、国是である「専守防衛」にも反しています。 憲法が認める自衛の範囲は「急迫不正の侵害」「ほかに 手段がない」「必要最小限」との3条件が前提です。し かし、安倍政権が憲法違反の安全保障関連法の強行 で「専守防衛」を骨抜きにしたのです。今また、台湾での シンポジウムで安倍元首相は「台湾有事は日本の有事 であり、日米同盟の有事」と敵基地攻撃論を後押しして いるのです。

## 戦争より外交で

ロシアはウクライナ侵略を強行していますが、許してはなりません。正義の戦争などありません。「軍隊は住民を守らない」、沖縄戦の教訓です。玉城デニー知事は昨年12月、防衛副大臣に「台湾の有事で、沖縄が再び攻撃の目標になることがあってはならない」と申し入れしました。1月末、「ノーモア沖縄戦命どう宝の会」が発足、「沖縄の島々が再び戦場になることに反対する」と活動を始めました。自治体決議「遺骨が眠る土を埋め立てに使うな」も全国に広がっています。悲惨な沖縄戦を語り継ぐ「月桃」(海勢頭豊作詞作曲)の歌碑建立運動が始まりました。県知事の設計変更不承認を支える闘いも全国に広がっています。ジュゴン保護の第3次署名「すべての辺野古新基地建設工事を中止せよ」も始めました。沖縄復帰50年、市民の国際的なつながりで戦争政策を封じ込めましょう。

# +

# 基地再編交付金は廃止すべきです!

### 名護市長に学んだ防衛省

名護市民は名護市長選挙で自公政権から「基地か振興か」の選択を迫られ、苦悩しました。今また種子島の西之表市民に基地交付金を使って、米空母艦載機の発着訓練移設先とし馬毛島への自衛隊基地建設を迫っています。防衛省は種子島の他の 1 市2町にも、22年度予算で基地交付金を計上すると説明し同意をとることで、移設反対で再選された八板西之表市長を孤立させています。2月3日、八板市長は岸防衛大臣と面会、再編交付金や自衛隊員の宿舎に関して「特段の配慮を」との要望書を提出しました。この背景には、防衛省が八板市長への説明資料で「賛成も反対もしていない名護市長に基地交付金を支給している」と説明したことにあるようです。

### 自治権破壊

防衛省は基地再編交付金について「米軍再編計画の対象となる米軍・自衛隊基地などの周辺市町村を対象に」「その進捗に応じて支払われるもので」、交付条件を「市町村長が再編に一定の理解を表明し」「その姿勢を保持していること」としています。本来、辺野古新基地建設について「国と県の訴訟の行方を見守る」とする渡具知名護市長は、交付金の対象にはなりません。政府方針に反対する自治体が受け取ることができない交付金は、思想信条の自由、財政民主主義に反します。また、防衛省が厚労省の所管である給食無料化や保育所無料化など子育て支援策を支給することは問題です。地方自治破壊の基地交付金は直ちに廃止すべきです。

(事務局 蜷川義章)



# やんばるの森と辺野古・大浦湾を 守る取り組み



### やんばるの森を守る取り組みについて

昨年 7 月のやんばるの森の世界自然遺産登録を踏まえて、やんばるの森を守る新たな取り組みが始まっている。世界遺産条約やその遺産条約運用指針を枠組みに、ユネスコ世界遺産センターや IUCN、そして日米政府に働きかけ、「やんばるの森を真の世界遺産へ」していく取り組みだ。

まず2月17日、SDCCを含めた33団体がユネスコ世界遺産センターとIUCN に対して、やんばるの森が抱える問題を再提起し、解決の必要性を訴えた。北部訓練場や訓練による環境への影響、「返還地」(もと北部訓練場)の米軍廃棄物、世界遺産区域と訓練場の境界線の問題。さらには米軍廃棄物の問題を訴える蝶类所究家の宮城秋乃さんが在宅起訴されるという人権問題。これらは世界遺産条約や運用指針に反すものであり、解決できない限り、やんばるの森は真の世界遺産とはいえない、また世界遺産条約さえも形骸化させている、といのが書簡の論点である。

また今回の書簡送付と連動する形で、ドイツ・ベルリンを拠点にする NGO、World Heritage Watch (WHW)との連携も始まっている。WHW は 2014 年に個々の世界遺産が抱える問題の解決と世界遺産制度を守ることを目的に設立された団体であり、重要な影響力を持っている。(WHW のトップである Maritta R. von Bieberstein Koch-Weser 氏は、元 IUCN の事務局長であり、国連機関のアドバイザーも務めている)。WHW は、NGOや市民社会が世界遺産センターや IUCN、ICOMOS と直接情報交換や意見交換を行うプラットフォームを提供して、問題を解決していくことを手法としている。世界遺産登録後、私のほうからWHWに協力を要請し、連携が始まった。



(2ページコラムの付図)

米空母艦載機の発着訓練先の移設を迫られている種子島 西之表市の 馬毛島 そして2月22日、WHWの主催するUNESCO-NGOウェビナー会議に私も参加する機会を得て、やんばるの森の問題を報告した。報告内容は世界遺産センターとIUCNに送った書簡と同様であったが、国際市民社会の立ち合いのもと、初めて、直接、口頭で世界遺産センターとIUCNのメンバーに問題を伝えることができたのは非常に重要であった。内部会議ということで内容についての詳しい報告はできないが、WHWが指摘してきたように、当該政府が世界遺産センターやIUCNに問題をきちんと報告していない状況が共通認識として確認された。またWHWが6月に発表する報告書のなかでも北部訓練場や返還地の問題を報告する方向で動いている。今後はその報告書も活用し、世界遺産センターやIUCN、そして日米政府への働きかけを強めていきたい。

### 辺野古・大浦湾を守る取り組みについて

新基地建設を止め、辺野古・大浦湾を守るために、市民社会から米国連邦議会議員や連邦機関へ書簡/報告書を送付する取り組みを現在進めている。内容は、玉城デニー知事の設計変更の「不承認」を受けて、軟弱地盤の問題と地盤改良による環境破壊の問題を伝えるものとなる。当初、送付を 2 月中に予定していたが(前号チャンプルニュース 3 面)、現在は 4 月中旬までの送付を目指している。

送付が遅れている要因の一つは、沖縄県が不承認に関する情報を3月18日時点においても英語で発信しきれていないことにある。 県の英語情報発信の基盤であるワシントン事務所のホームページでも、不承認の詳しい報告どころか玉城デニー知事の声明さえも記載されていない。県の原文を参照できない市民団体の書簡/報告書が影響力を持つとは言えず、現在県に対して早急の対応を求めている。一方、これまで共に活動してきた米国の市民団体には現状を報告し、市民社会からの書簡/報告書送付後の活動の支援をお願いしている。 (国際担当 吉川秀樹)



## 首都圈

# 首都圏のスルーアクションは続く



沖縄防衛局の「辺野古工事の設計変更」を、玉城沖縄県知事が、不承認としたにもかかわらず、辺野古では連日工事が進められています。理不尽な状況です。そんな中、「辺野古の海を土砂で埋めるな!首都圏連絡会」で行ったネット署名は、世界中から集まり、5万234筆に達しました。3月15日に、首都圏の代表が玉城知事へ署名を提出しました。玉城知事や沖縄現地の運動の後押しになれて良かったです。

定例となった「第一月曜日の新宿駅南口のブルーアクション」は、3月5日小春日和の中、人出の多くなった駅頭で「ウクライナ侵攻をやめろ!台湾有事をあおり沖縄を戦場にするな」と、リレートークとエイサーを交互に行いアピールしました。チラシの受け取りも良く、カメラを構える人もいました。新宿駅南口のスタンデイングでは、エイサーが行われるなど、アピールの方法も沖縄の文化を取り入れて効果を発揮しています。

第一月曜日の夜は、防衛省前抗議行動の日です。3月7日の 防衛省前には、山城博治さんが初めて参加し、「沖縄を戦争の盾 にするな!平和を求める行動を続けていきましょう」と力強く 訴えました。 コロナ禍による行動制限も緩和されつつあります。毎 週金曜日の官邸前抗議行動にも参加しながら、首都圏の 仲間達と力を合わせて、辺野古新基地を造らせないため の行動に参加していきます。 (首都圏 宮城韶子)





# 「月桃」歌碑建立運動で グラー・グラー・グラー・グラー・バーモア戦争・話し合いで解決を」の世界を

沖縄の本土復帰から50年。東京と沖縄で5月15日に記念式典を同時開催する準備が進められています。しかし、2013年1月に翁長雄志前知事(当時那覇市長)ら沖縄県内41市町村代表や県議会が、安倍首相(当時)に提出した「米軍普天間基地へのオスプレイ配備撤回や同基地の閉鎖・撤去を求める建白書」は歴史公文書として国立公文書館に保存されたままです。

日米両政府が南西諸島のミサイル基地拠点化を進めている中、沖縄の人々は「ノーモア沖縄戦 命どっ宝の会」を

発足させました。海勢頭豊さんが悲惨な沖縄戦を語り継ぐために作曲した「月桃」を、今だからこそ全国に広げるべきだと思います。建立実行委員会は西原町(海勢頭さんの居住地)の後援を受けて、6月23日をメドに建立する運動を始めました。実行委員会は建設費700万円の内500万円を目標に取り組んでいます。ご協力をお願いします。詳しくは同封のチラシをご覧ください。

- 101000円
- · 郵金銀行17000-20636321
- 口座名 ゲットウカヒコンリュウジッコウイインカイ (事務局)



海勢頭豊さんと月桃の花

香れよ香れ 月桃の花 変わらぬ命 変わらぬ心 変わらぬ命 変わらぬ心 ふるさとの夏 ふるさとの夏

長い長い 煙たなびく 月桃の花 散りましたハ月二十三日待たず

変わる果てない 浮世の情け 寄せくる波は 変わらねど みじんない ア世の情け

警いの言葉 今も新たな 誓いの言葉 今も新たな

手に取る人も 今はいない 村のはずれの 石垣に が白い 花のかんざし 様は萌える うりずんの 緑は萌える うりずんの があるさとりは 南風

れて 花咲けば 調曲 海勢頭

月

桃

# **ご案内** 第1回オンラインセミナー ジュゴンの棲む海は Hope Spot「希望の海」

コロナ禍でご自宅でも参加していただけるようにと、オンラインセミナーを企画しました。第1回は、辺野古・大浦湾のリーフチェックを続けられている安部真理子さんをメイン講師にお迎えし、現在の辺野古・大浦湾のサンゴの生息状況や日本初の認定となったHope Spot などについて伺います。また、名護市在住の吉川秀樹さんから、Hope Spot の地元での取り組みについて報告します。

\*Hope Spot とは、海洋学者のシルヴィア・アール博士が立ち上げたプロジェクト、ミッションブルーが設定する海洋保護区のこと。 (関西 山根富貴子)

日時: 4月17日(日)午後2時~3時半

講師:安部真理子(日本自然保護協会 保護部主任)報告:吉川秀樹(ジュゴン保護キャンペーンセンター

国際担当)

参加費:500円

配信方法:YouTube チャット機能で質問を受け

付けます

申し込み方法: info@sdoc.jp にメールでご連絡の上、4月15日(金)までに参加費500円をお振込みください。入金確認後 YouTube の配信アドレスをお送りします。

振込先:ゆうちょ銀行 加入者名 ジュゴン保護キャンペーンセンター

口座番号 00140-9-660199









講師の安部真理子さん

# ☆ 沖縄ジュゴンをまもりたい! すべての工事の中止を ☆ 第3次署名にご協力をお願いします

昨年は1月~4月、9月~11月の2回の署名活動に取り組みました。1回目は32440筆、ジュゴンの鳴音データ公開と、作業船の夜間航行の停止を求めました。2回目は33589筆、さらに「ジュゴン絶滅論文」を専門誌に投稿した環境監視等委員会の委員3名の解任を求めました。第2次署名提出の前日、2021年11月25日に玉城デニー沖縄県知事は、沖縄防衛局の設計変更申請を不承認にしました。「作業船の夜間航行ジュゴンへの悪影響」も不承認の理由に含まれており、2回の署名によって玉城デニー沖縄県知事の判断を後押しすることができたと思います。

この不承認によって、設計変更の対象である大浦湾側の工事は、おおむねストップしています。しかし辺野古側では、現在も工事が続行されています。

A CAN STAND

埋め立て工事は辺野古側、大浦湾側で一体のもの。すべて の工事を中止させることが必要です。第3次署名では

- 1. 辺野古のすべての工事を中止すること。
- 2. 作業船の夜間航行を直ちに停止。「ジュゴン絶滅論」を投稿した委員の解任
- 3. やんばるの米軍は部演習場返還地に投棄されている米軍廃棄物の撤去。

などを求めます。締め切り・提出は 11 月。目標は 5 万筆です。この間に沖縄県知事選挙もあります。すべての埋め立て 工事の中止とジュゴンとやんばるの森を守る世論を一層高め、玉城デニー沖縄県知事の再選を支え、辺野古新基地建設を止めましょう。 (関西 松島洋介)

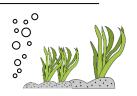
署名用紙は、SDCCのHPのトップページ http://www.sdcc.jp/top.html からダウンロードページにすぐ入れます。

# 交流应場

今回は、名古屋で活動されている北村ひとみさんからの投稿です。「学生時代は平 和運動、就職後は長年労働運動に関わって来ました。福島第一原発事故後に参加した 反原発運動をきっかけに様々な市民運動にも出掛けるようになりました。沖縄の基地 問題にも関心を持ち辺野古新基地建設反対の座り込みにも度々参加しています。」

## 名古屋における取り組み紹介





初めまして!名古屋市の北村ひとみと申します。今回、寄稿の機会を得ましたので「高江・辺野古みんなの平和を守れ名古屋アクション」を紹介させていただきます。このアクションは、2016年7月、沖縄防衛局が東村高江でヘリパッド建設を強行したことに抗議し、一人の若者の呼び掛けから始まりました。以後毎週土曜日の夜、名古屋市の中心部にある三越前で行動しています。参加者は常時20~30名でス

↓ジュゴンも一緒に楽しくアピール♪



ピーチや歌、楽器演奏、勝利のラインダンスなどで楽しくアピールしています。通りすがりにカンパしてくださるなど市民の反応も少しずつ良くなっています。もうすぐ300回になりますが、こればかりは長く続けば良いというものではありません。辺野古新基地建設が頓挫する日は必ずやってきます。私たちはその日まで沖縄県民の皆さんや全国の仲間の皆さんと共に行動します。私は助産師として母と子の命を繋ぐ仕事をしてきました。子ども達の未来に豊かな自然と平和な世の中を残すのが今を生きる大人の責任だと思っています。私にできる行動と表現でこれからも活動したいと思います。

今回、紙面の都合で「辺野古新基地反対コンサート in 名古屋」について紹介出来ませんでしたが又の機会に是非紹介させてください。3か月に1回開催されるこのコンサートは別名「平和とジュゴンを守るコンサート」と言います。私は毎回お手伝いだけですが「歌の力は偉大だ」といつも感動しています。 (名古屋市在住 北村ひとみ)

、いつか参加したいです!







ガッドニュースタ



「退役軍人、宮城さん擁護 米軍廃棄物浄化求め、IUCNに訴え」(沖縄タイムス 2022・2・5)

2021 年やんばるの森が、問題を残したままだが世界自然遺産に登録された。なんといっても米軍北部訓練場が隣接しているのは大問題。オスプレイなど米軍機の低空飛行訓練による騒音や爆風が、絶滅危惧種のノグチゲラやヤンバルクイナなど、森の生きものたちを脅かしている。また、一部返還され登録地に組み込まれた跡地から、米軍による有害廃棄物が多数見つかっている。やんばるの森で生物調査を続けるアキノさんが、その問題を訴えたら、逆に在宅起訴されてしまった。これで自然遺産?

市民の「やんばるの森を真の世界自然遺産へ」という取り組みが始まっている。SDCC を含め33の団体がユネスコ世界遺産センターと国際自然保護連合(TUCN)に現状を訴える書簡を送付した。

嬉しいニュースが飛び込んできた!米国で心強い動きが起こっている。「退役した米軍人やその支援者らでつくるベテランズ・フォー・ピースの米国本部が、米軍北部訓練場返還地の米軍廃棄物問題とその問題を追及するチョウ類研究者の宮城秋乃さんが起訴されたことについて、国際自然保護連合(IUCN)米国支部に書簡を発送した。米軍廃棄物が残る現状に『これが米国内の基地であれば、軍はもっと清掃や除染の努力をしたはず』『退役軍人として米国市民として、私たちは軍の無責任な怠慢に憤慨している。IUCNと共にこの問題を世に問いたい』とした」(記事より抜粋)。

軍事基地と環境保護は両立しない。この取り組みが世界 の軍事化を止める1つの動きになればと思う。

(関西 池側恵美子)

月桃は、南西諸島の山野に自生する生姜科の多年草である。通常4月から6月に開花し、光沢のある白い蕾を房状にたれる。花の形状から英語ではシェルジンジャーと呼ばれ、俗に言う山生姜である。沖縄本島ではサンニン、奄美大島ではサネンという。おそらく漢字で書けば「山仁」か? 昔から仁丹などの健胃薬に利用され、また甲骨文字の「山」の字が龍宮神信仰の三拠点を表すことから、やはり、サンニンは「山仁」と考えたい。いずれにしても、防菌防かびの強い薬味があり、食品、化粧水、畳など多方面で活用され、捨てるところがない。

3月17日は、寅年の初穂祭・二月ウマチーで、朝から平安座島の神屋に詣で火ヌ神に祈り、西グスクと東グスク祈ってきた。「月桃」歌碑建立事業に対しては平安座島でも協力体制ができ、4月中頃には贈呈式を行うという。その前に3月30日には浜御願と海御願があり、4月3日・陰暦3月3日の龍宮祭と翌日4日のサングァチャーの祭りがある。

島では龍宮祭をドゥグンマチーと言う。サン月サン日がジュゴンの古名にちなんだことは解るが、何故ドゥグンマチーなのか? は長く謎であった。ところが、古代シュメール文明の頃、地中海沿岸のパレスチナ人の間でも、上半身が女神で下半身が魚の姿のダゴン神が崇拝されていたという。となると、聖なるジュゴンの名、サン、ザン、ジャン、ヨハンなどが西欧諸国に広がったその頃、

ジュゴンをダゴンと呼んでいた人々がパレスチナやイス ラエル辺りから国を追われ、東に向かって中国にたどり 着き、さらに東海の南西諸島に里帰りし、さらに北上し て日本列島に住み着いた人々によってドゥグンに龍宮の 当て字がなされ、龍宮神信仰が誕生したことになる。

しかし、龍宮神時代になっても、古来のサン、ザンの 名は沖縄本島周辺に残っており、サンザンのつく名称文 化も誕生していたということである。

サンニンは和名を月桃という。ヒミコは月の神でもあり、桃の節句でも説明したように祭祀儀礼に桃を用いたことなどを考えると、なるほどと思う。その「月桃」歌碑建立に SDOC の仲間達から続々カンパが寄せられている。感謝し、みんなで頑張って完成させたい。

海勢頭豊(うみせど ゆたか:SDCC 共同代表)



## わんさか通信★ジュゴンのわ

## 県民投票から3年

2月24日で普天間基地の辺野古移設に伴う埋め立ての賛 否を問う県民投票から3年が経ちました。

「賛成」「反対」「どちらでもない」の三択で行われ、結果 71.73%の県民が反対の意思を示した選挙。(投票率は 52.48%)

全県まとめての投票になるまで紆余曲折ありながらも実現されて割を超えた反対の声をどのように政府は、日本国民は受け止めてくれるだろうか…。

しかし埋め立て工事は止まらず今も土砂の投入は続いている。「無視するな!埋め立てるな!!」

コロナ禍に民意の風化を狙い強行工事を続ける政府に、県民の意を代表し玉城デニー知事は「辺野古に新基地を造らせ

# 

ない信念は1ミリもぶれない」と言ってくれています。

前翁長知事から受け継がれたこのバトンを取られないように一丸となってゴールに届けたい。

(沖縄 小平裕美)

沖縄タイムス(2/16)より

## INFORMATION

<首都圏・全国>

《 今後のスケジュール 》

<関西>

-4/17(日)第1回 SDCC オンラインセミナー 講師:安部真理子さん 14:00~15:30

infi@sdcc,jp へ申し込み(詳細は5面)

-4/22(金) 政府交渉(予定 詳細別途)

-4/24 (日) 映画「ちむぐりさ」上映会

大田区消費者生活センター 14時17時2回上映

SDCC ZENKO 南部 他の呼びかけ

事前予約 t-sasaki@cb3.so-net.ne.ip 090-2737-3069

・4/29(金) 高里鈴代オンライン講演会 15時開場15時30分開演 早稲田奉仕園スコットホール

・5/1(日) 第22回 SDCC 総会(オンライン) 14:00~16:00

•5/15 (日)「ミサイル基地いらない宮古島住民連絡会」 清水早子さん 講演会&デモ

呼びかけ Stop!辺野古新基地建設! 大阪アクション PLP 会館 14:00 開場 14:30 開会 オンライン配信あり

じゅごん茶話会:感染状況を見ながら開催 SNS、ブログでお知らせします



## ☆ ご案内☆ 第 22 回 SDCC 総会

第22回 SDCC 総会を以下の要領で開催いたします。

日時:5月1日(日) 14時開会 16時開会

開催形式: ZOOM によるオンライン形式

プログラム:海勢頭豊 共同代表あいさつ

基調報告 決算報告 活動報告

国際活動 首都圏 関西

質疑応答(チャットを併用して行います)

参加方法: info@sdcc.jp に「第22回SDCC総会参加希望」と明記して、

お名前、メールアドレスをお知らせください。 おり返し ZOOM 参加招待状をメールいたします。



Stop!辺野古新基地建設!大阪アクションの大阪駅前行動

(3/20 写真: 大阪アクション)

#### Editor's Note

ウクライナでは今日も人と人とが殺し 殺されている。 侵略者プーチンは主犯で あり全く許せない。

しかしNATO、アメリカも人殺しだ。 彼らはゼレンスキーに武器援助を行い、 火事場にガソリンをぶっかけ、住民を焼き殺している。まず民衆の力をあわせて 停戦を実現し戦争を止めよう。 侵略者を 罰し、火事場でうごめき金儲けをしてい る連中の姿をあばくのはそれからだ。

日本でも「これを好機」と安倍元首相らは「ウクライナのようにならないために」事実上の核武装を主張し始めた。辺野古新基地をとめ、沖縄の島々への自衛隊配備をとめることが、ウクライナ民衆につながる道だ。 (M)

## 「沖縄が日本を倒す日」(渡瀬夏彦)

1800円+税 かもがわ出版

著者は2006年から沖縄に移り住んだノンフィクションライター。玉城デニー知事の誕生や翁長雄志前知事の闘いを取材する中で感じた「沖縄の民衆の底力」を、本土の人々に一緒に受け止めないかと訴えています。一読を。 (蜷川義章)



ジュゴンちゃんぷるニュース VOL. 121 2022 年 3 月 29 日発行

ジュゴン保護キャンペーンセンター Save the Dugong Campaign Center (SDCC) 〒162-0815 東京都新宿区筑土八幡町2-21

第1千代田ビル301 なかま共同事務所内 TEL/FAX 03-5228-1377

O <a href="http://www.sdcc.jp">http://www.sdcc.jp</a> O <a href="miniput">info@sdcc.jp</a>

(関西連絡先) 〒534-0025 大阪市都島区片町2丁目9番21号京橋ベース

(旧野ロビル) 302 TEL/FAX 06-6353-0514

## 会費(2000円)&カンパ振り込み先

### 郵便振替:

加入者名 ジュゴン保護キャンペーンセンター

口座番号 00140-9-660199

他行、コンビニからは: ゆうちょ銀行 〇〇八支店 口座番号 普通 8159084

\*ちゃんぷるニュース購読会員募集中です。年会費2000円で年6回ニュースをお届けします\* お問い合わせは、上記事務所まで。ニュース購読で、あなたもジュゴンサポーターに!



SDCCのwebsite http://www.sdcc.jp/ には、左配のRコードより アクセスできます